

【回答】

仕切りのための線は、「コラム 34」にありますように②の点(.....)と②⑤の点(.....)を用いることができます。どう用いてもよいのですが、たとえば、本文が終わったら、②⑤の点の仕切りのための線を書き、注記を書いて、注記が終われば②の点の線を書いて写真の説明を書くこともできます。順序が逆でも自由です。こうすると、どちらかが無い場合は、線が一つになるだけです。気にせず書くことができます。

例えば、②⑤の点の下には必ず注記を書き、②の点の下にはかならず写真の説明を書くとしてもいいと思います。そうすると、注記が無い場合は、②の点で写真だけを入れ、写真が無い場合は、②⑤の点で注記だけを書くこともできます。仕切りのための線は、1行あけより小さい区切りであるという以外、厳密な規則はありませんので、ある程度自由に工夫することができます。

コラム34

注記や写真説明などの入れ方

本文が終わって次の見出しが始まる前に、注記や写真説明などを挿入するとき、その間に仕切りのための線を入れたり、段落と段落の間に入れる場合は、枠線を使用したりすると分かりやすいでしょう。

区切り線は1行あけより大きな区切りを示しますので、見出しと見出しの間を1行あけにしている場合には、それより小さい区切り目には用いることができません。そこで、行頭のあけ幅を4マスか6マス程度にして、行の中央か少し後ろまで、仕切りのための線を引きます。②⑤の点または②の点を用います。

下に一例を示しますが、点の種類や行頭のあけ幅、マス数は特に決まったものではありません。分かりやすく読みやすいように工夫しましょう。

《段落と段落の間に注記を入れる場合の例》

固定電話の通話時間と行為者率を2005年と2010年で比較すると、全体平均では両者とも減少傾向にある*。携帯電話の普及による結果と考えられるが、年齢層別にみると、それぞれ異なったパターンを示している。

まず、10代は通話時間が0.3分、行為者率が1.2%でありほとんど利用されていない。完全に携帯電話の影響と考えられる。～

* 電話の通話時間については2000年調査までと2005年以降の調査では回答の記入形式が異なるためここでは2005年以降のデータのみを比較した。

□□コテイ□デンワノ□ツーワ□ジカント□コーイシャリツヲ□
:::2005 ネット□～□ゲンショー□ケイコーニ□アル:::□□
ケイタイ□デンワノ□～□パターンヲ□シメシテ□イル:::
:::□□:::□デンワノ□ツーワ□ジカンニ□ツイテワ□～□
データノミヲ□ヒカク□シタ:::
:::□□マズ:::□:::10ダイワ□ツーワ□ジカンガ□:::0:::3ブン:::□～

《見出しの変わり目に注記を入れ、1行あけて次の見出しを書く場合》

～社会的障壁に目を向ける社会モデル^{*1}の視点を持つが必要になります。

*1 社会モデル：障害を主として社会によって作り出された問題と見なす障害のとりえ方

シャカイテキ □ ショーヘキニ □ メヲ □ ムケル □ シャカイ □
 モデル ⠠⠠⠠⠠ 1 ⠠⠠ ノ □ シテンヲ □ モツ □ コトガ □ ヒツヨーニ □
 ナリマス ⠠⠠

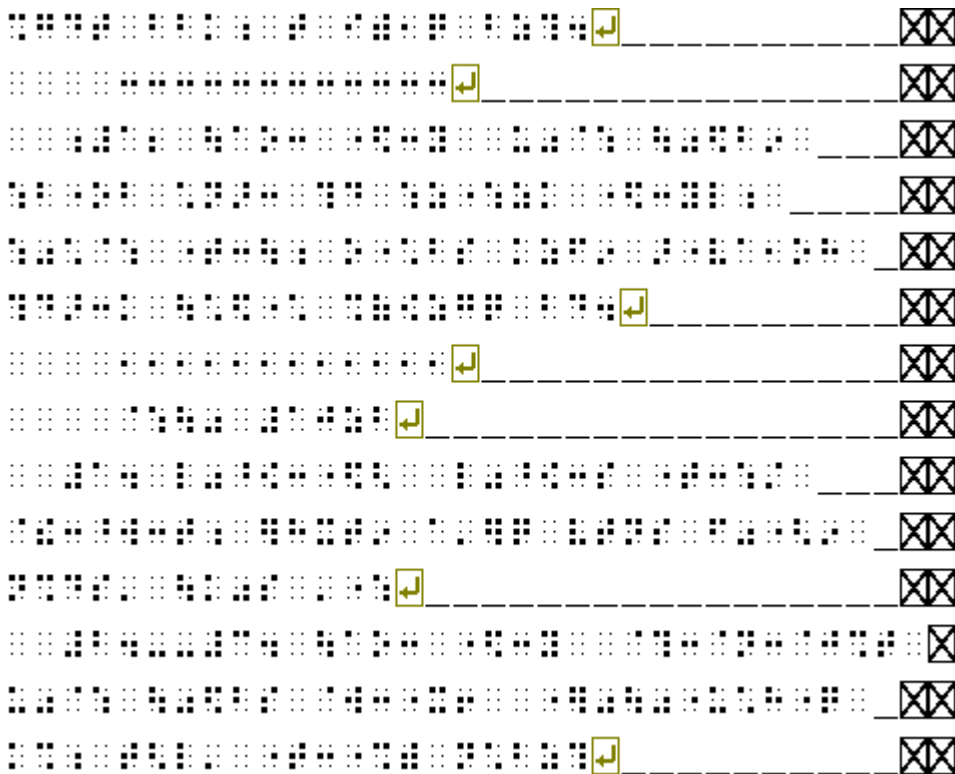
□ □ □ □ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

□ □ ⠠⠠⠠⠠ 1 ⠠⠠ □ シャカイ □ モデル □ ⠠⠠⠠ □ ショーガイヲ □
 シュトシテ □ シャカイニ □ ヨッテ □ ツクリダサレタ □ モンダイト □
 ミナス □ ショーガイノ □ トラエカタ

□ □

□ (次の見出し)

例えば、②⑤の点の下には必ず注記を書き、②の点の下にはかならず写真説明を書く。



【質問】

固有名詞に使われている数字の扱いについてです。「一の橋」という東京港区にあるとのことですが、ほかに「二の橋」「三の橋」とあるそうです。点訳している本には「一の橋」しかでてきません。点訳のてびき第3版 Q&A 第2集の Q23 で固有名詞の中に使われている数字は仮名で書くことを原則とするので「イチノハシ」と書いていいでしょうか？辞書を調べると「一の橋」が一番目につくられたこともかいてあったので、順序の意味があるとして「数1ノハシ」となるでしょうか？

『点訳のてびき第3版 Q&A 第2集』より

Q23 固有名詞の中に使われている数字の扱いについて教えてください。

第一製薬、七十七銀行、第四銀行、第一勸銀（略称の「一勸」）、六間堀、六間堀町（地名）、十三湖（地名）、十二湖（湖の名前）、二十間川、五本松

固有名詞の中に使われている数字は仮名で書くことを原則とします。ですから、ご質問の会社名や湖の名などに含まれる数字は、「ダイイチ□セイヤク」「シチジューシチ□ギンコー」「ジューサンコ」のようにすべて仮名で書いてよいでしょう。

ただ、「銀行」は、設立の順番など数量や順序の意味があるとして、「㊦㊦㊦㊦□ギンコー」「ダイ㊦㊦㊦□カンギン」などと書く書き方もあります。

【回答】

川にかかる橋の順番を示しますので、数字で書いてよいと思います。

「橋」は2拍でも自立性の高い名詞ですので、区切って書いた方がよいと思います。

数1ノ■ハシ となります。

一の橋 → ㊦㊦㊦㊦㊦㊦

1.p94 1. その他の固有名詞

【Q】

用例で「サッポロ一番」は、数1バンとなっています。固有名詞ですが数字で書く理由をお尋ねします。

サッポロ一番 → ㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦㊦

【A】

商品名の由来を見ても、「一番初めに開発され、一番おいしい」など「一番」という数的な順番の意味合いが強いですし、分かりやすいと思いますので、商品名であっても、数符を使って表した方がよいと判断しました。

【質問】

『S.P.Y.株式会社』九条睦月著のを点訳しています。本文に「S.P.Yours 略して S.P.Y(エス・ピー・ワイ)あるいは SPY(スパイ)と言ひまして。」

アルファベットで書かれているところの書き方がをお教えてください。

・書名の「S.P.Y.」は略称なのでてびき44ページ備考4と考えて「外大大 SPY」または「外大 S.大 P.大 Y.」と2つ考えらると思うのですが、書名は「外大大 SPY■カブシキガイシャ」と考えました。

・「S.P.Yours」はてびき47ページコラム9の NTT Communications と考えて、「外大 S.大 P.■大 Yours 外」もしくは「外大大 SP■大 Yours 外」2つ考えらると思うのですが、「外大大 SP■大 Yours 外」と考えました。

・「S.P.Y.(エス・ピー・ワイ)」は「外大大 SPY(エスピーワイ)」もしくは「外大 S.大 P.大 Y.(エスピーワイ)」と2つ考えらると思うのですが、「外大大 SPY(エスピーワイ)」と考えました。

・あるいは SPY(スパイ)は諜報員という意味の語句と思うので、「引大大 SPY 引■(スパイ)と考えました。

【回答】

S.P.Y.を外大大 SPY と点訳する前提で書きますと

S.P.Y. → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

S.P.Yours → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

S.P.Y(エス・ピー・ワイ) → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

SPY(スパイ) → ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

となります。

「てびき」p47 コラム9の「NTT Communications」の例では、このような場合は外国語引用符を用いると説明しています。

コラム9

略称か、語句か

外文字は、アルファベットの文字・略称に用います。外国語引用符は外国語の語句や文、およびローマ字で書かれた日本語に用います。

OPECは、オベックと読みますが、「Organization of Petroleum Exporting Countries」(石油輸出国機構)の略称ですので、外文字で書きます。略称を習慣的に愛称や語呂合わせなどのように読んでいる場合もありますので、よく調査して判断しましょう。

英語やフランス語などの外国語は、「in・on・by」など短い語でも外国語引用符で囲みます。ローマ字で書かれた語句も外国語引用符で囲みます。

フォーラムin京都【フォーラム ⠠⠠ i n ⠠⠠キョート】

HAKATA【⠠⠠⠠⠠HAKATA⠠⠠】

aiko【⠠⠠a i k o⠠⠠】

100分de名著【⠠⠠1 0 0ブン⠠⠠d e⠠⠠メイチョ】

調査しても略称か語句かの判断がつかない場合は、外文字を用いて書きます。

なお、外文字で書くべき略称と外国語引用符で囲むべき外国語が複合した語は、一つの外国語引用符で囲んだ方がよいでしょう。

NTTcommunications【⠠⠠⠠⠠NTT⠠⠠c o m m u n i c a t i o n s⠠⠠】

備考2 点訳挿入符とカッコ類が続いて、「⋯」が3マス連続する状態で用いることはできないので、以下のような工夫をする。[\(こちらを参照\)](#)

- ①第1カッコを閉じたあと、一マスあけて点訳挿入符の開き記号を書く。
- ②カッコ類の内側に点訳挿入符が続かないように、点訳挿入符の位置を工夫する。
- ③点訳挿入符の内側に第1カッコが続かないように、点訳挿入符の中の文章表現を工夫する。

『点訳フォーラム』より

【Q】

②③⑤⑥(⋯)の点3マス連続(⋯⋯⋯)する状態で用いることができないために回避する方法が示されていますが、具体的な事例を示していただけませんか。

【A】

(胸部)のようにカッコ内に書かれた語に点訳挿入符で「ムネノ■ブ」と説明を補う場合、キョーブの直後に入れると、点訳挿入符の閉じ記号と第1カッコの閉じ記号が連続します。このようなときは、いったん(キョーブ)と書いてカッコを閉じた後に、一マスあけて点訳挿入符を開きます。このように、一方の閉じ記号と一方の開き記号が連続する場合は、間をマスあけします。開き記号どうし、閉じ記号どうしが連続する場合に間をマスあけすることはできませんので、点訳挿入符内の文章表現を工夫するなどします。たとえば点訳挿入符内に「(1)は～」などと記載する場合、「イカノ■(1)ワ～」とカッコ前に言葉をつけたり、「～は割合(%)」であることを記載する場合、「～ワ■ワリアイ、■タンイ■外 p」とカッコを用いずに行ったり、閉じカッコのあとに句点を付けて点訳挿入符を閉じるなど、点訳挿入符の内側に第1カッコが接しないように工夫します。

- ① × (胸部) → ⋯キョーブ⋯⋯ムネノ■ブ⋯⋯
※開き記号どうし、閉じ記号どうしが連続する場合に間をマスあけすることはできません。
- (胸部) → ⋯キョーブ⋯⋯⋯ムネノ■ブ⋯⋯
※カッコを閉じた後に、一マスあけて点訳挿入符を開きます。

②点訳挿入符内に「(1)は～」などと記載する場合、「イカノ■(1)ワ～」とカッコ前に言葉をつける。

(1)は～ → 以下の(1)は～

- × (1)は～ → ⋯⋯⋯⋯⋯⋯ワ～
- イカノ■(1)は～ → ⋯⋯イカノ⋯⋯⋯⋯⋯ワ～ カッコの前に「イカノ」の言葉をつけた

③点訳挿入符内に「～は割合(%)」であることを記載する場合、「～ワ■ワリアイ、■タンイ■外 p」とカッコを用いずに行ったり、閉じカッコのあとに句点を付けて点訳挿入符を閉じるなど、点訳挿入符の内側に第1カッコが接しないように工夫します。

「～は割合(%)」 → 「～は割合、単位%」、「～は割合(%)。」

- × ～は割合(%) → ⋯⋯～⋯⋯⋯⋯⋯⋯
- ～は割合、単位% → ⋯⋯～⋯⋯⋯⋯⋯⋯
※カッコを用いずに行
- ～は割合(%)。 → ⋯⋯～⋯⋯⋯⋯⋯⋯
※閉じカッコの後に句点を付け点訳挿入符を閉じる

【Q】

次のような文章で、視線(指線)の部分の点訳ですが、カッコ内に点訳挿入符を使おうと思うと閉じカッコとの関係で使えないのですが、このような場合はどうしたらよいのでしょうか。

本のページの手触りを意識し、視線(指線)で活字を追いながら、紙上ワークショップをお楽しみください!

【A】

このような場合、シセン(シセン)と書いても、同じ読みの繰り返しで、分かりにくいだけですので、シセン点挿ミル■セン、■カッコナイニ■ユビノ■セン点挿などのように、同じ読みの語がカッコ内に書かれていることを説明するとよいと思います。

視線(指線)

× シセン(シセン)

○ シセン $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ミル■セン、■カッコナイニ■ユビノ■セン $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$

【Q】

点訳挿入符を使い説明するとカッコが続いてしまう時の対処の仕方を教えてください。
家臣たちからは「お館様(お家形様)」と呼ばれ、
この部分はどの様に点訳すればよいのでしょうか？

【A】

「お館様(お家形様)」の漢字の違いについて、原本でこの前後に言及されていず、単に2種類の書き方を示しただけでしたら、「オヤカタサマ」と書くだけで、(～)は無視してもよいと思います。

もし、漢字で2種類の表現があることを示す必要がある場合は、

1. 「オヤタカサマ((カッコ内に異なる漢字で書いてある))」
2. 「オヤカタサマ((「ヤカタ」は「たて」と、カッコ内に「イエ、カタチ)))」

などの説明をいれてはいかがでしょうか。

お館様(お家形様)

- ・ 原本でこの前後に言及されていず、単に2種類の書き方を示しただけでしたら、「オヤカタサマ」と書くだけで、(～)は無視してもよい

○ オヤカタサマ

○ オヤカタサマ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■カッコナイニ■コトナル■カンジデ■カイト■アル $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$

○ オヤカタサマ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■ヤカタ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■ワ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■タテ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■■カッコナイニ■■イエ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$ ■カタチ $\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}\ddot{\cdot}$

【質問】「悲しい(哀しい)」と本文にあるのですが、どちらも「かなしい」と読むけど点字でどう書く？

【回答】

原本でこの前後に言及されていず、単に2種類の書き方を示しただけでしたら、「カナシイ」と書くだけで、(～)は無視してもよいと思います。

悲しい(哀しい) → カナシイ

【質問】

以下の文章のカッコについて質問です。

1. チーフは僕たちを(僕たちの両親との金銭的取り決めに従って)セントラルパークに連れて行った。
2. 僕たちは季節に(ごく大雑把に)合わせてサッカーか野球をやった。
3. 今朝、あまりの寂しさに、笑い男はひっそり(その足どりは猫のように優雅であった)隠れ家の周りのうっそうたる森に出かけて行った。

※「文章の切れ続きの決まりに従って判断すると、カッコの閉じの後ろに、前から続く助詞や助動詞あるいは句読点などがあればカッコの前後は文として続いていると判断し注釈的説明と考えカッコは続ける。カッコで囲まれた文を省いて読んで文脈が続かなくなる場合は挿入と考える。」とベテランのボランティアさんに教えてもらったのですが、この考え方で考えると、

挿入は1. 2

1. チーフは僕たちを■(僕たちの両親との金銭的取り決めに従って)セントラルパークに連れて行った。
2. 僕たちは季節に■(ごく大雑把に)合わせてサッカーか野球をやった。

注釈的説明は3

3. 笑い男はひっそり(その足どりは猫のように優雅であった)隠れ家の周りのうっそうたる森に出かけて行った。

3. はカッコの閉じの後ろに、前から続く助詞や助動詞あるいは句読点などがなく迷ったのですが、カッコが前の語「ひっそり」にかかっているということで、注釈説明でつづける。あと、てびき 108 ページの参考のどちらか迷う場合も多いので、迷った場合は基本的な用法を選び、前の語に続けるように考えました。

※「ただ、[参考]には、前を区切って書く場合として、『独語と、前の語句の説明ではなく後ろの文脈にかかること』が挙げられています。」

『点訳フォーラム』より

一九二八年、九歳だった僕は、最大限の組織愛を胸に、コマンチ・クラブなる団体に属していた。毎日放課後三時に、僕たち二十五人のコマンチ族を、族長が一〇九丁のナムステルダム・アベニュー付近、公立一六五番校の男子用出口の外まで迎えにきた。僕たちが押しあいへしあいチーフの再改造バスに乗り込むと、チーフは僕たちを(僕たちの両親との金銭的取り決めに従って)セントラルパークへ連れていった。日が暮れるまで、天気が悪くないかぎり、僕たちは季節に(ごく大雑把に)合わせてフットボールかサッカーか野球をやった。雨の日にはいつも、自然史博物館かメトロポリタン美術館にチーフは僕たちを連れていった。

毎土曜日と、祭日の大半、チーフは朝早く僕たちのアパートメントを回って僕たちを拾い、廃車としか見えないバスで僕たちをマンハッタンの外の、都心に較べれば広々としたヴァン・コートラント公園かバリセースに連れ出した。僕たちの頭がひか

けた。ところが、なぜか山賊の一味は彼が自分たちの隠れ家にとどまることを許した。ケシの花びらで作った、薄赤色のボールで顔を覆っているかぎり。ボールのおか

げで山賊たちは羨い子の顔を見ずに済んだし、彼がどこにいるかも把握できた。この

ボールのせいで、笑い男はいつも阿片の匂いをおんおんさせていたのである。

今朝、あまりの寂しさに、笑い男はひっそり(その足どりは猫のように優雅であった)隠れ家の周りの鬱蒼たる森に出かけていった。森で彼はあらゆる種の動物を手な

ずけていた。犬、白マウス、鶯、ライオン、大蛇、狼。動物たちの前ではボールも外

し、動物自身の言葉で優しく、歌うように話しかけた。動物たちは彼を醜いと思わな

かった。

【回答】

ベテランのボランティアさんの説明も、その通りと思いますし、切れ続きの判断もお考えの通りと思います。

3.は、お考えのように前の「ひっそり」の補足説明ですし、カッコの開き閉じの記号を省いて、続けて読むと文脈が不自然になりますので、説明カッコとの判断になると思います。

『点訳のてびき第4版』106-108 ページ

2 ……カッコ類

(1) カッコ類は、原則として注釈的説明の語句を囲む場合に用いる。

第1カッコ(⠠～⠡)を用いることを基本とし、その中にさらにカッコ類が必要であれば、二重カッコ(⠠⠠～⠡⠡)を用いる。これらは墨字の(～)・((～))にはほぼ対応している。第1カッコ・二重カッコと区別して他のカッコを必要とする場合に、第2カッコ(⠠⠠～⠡⠡)を用いる。

(2) カッコ類で囲んだ語句や文、記号類とカッコ類の内側は続け、外側は分かち書きの規則に従う。

(3) カッコ類で囲んだ語句や文が、前の語句や文の注釈的説明である場合は前に続けるが、独語や回想、編集上の注意書き、略語などが挿入されていて、明らかに注釈的説明と異なる場合は、前をあける。

(4) 外文字を用いて書かれたアルファベットの後ろと、注釈的説明に用いられているカッコ類とは続けて書き、外国語引用符の閉じ記号とカッコ類の開き記号との間は一マスあける。

少年(16歳)の姿 ショーネン⠠⠠16サイ⠠ノ⠠スガタ

全視情協(全国視覚障害者情報提供施設協会)の大会が開かれた。

ゼンシジョーキョー⠠⠠ゼンコク⠠シカク⠠ショーガイシャ⠠ジョーホー⠠テイキョー⠠シセツ⠠キョーカイ⠠⠠ノ⠠タイカイガ⠠ヒラカレタ⠠

日頃冷静(?)な彼があんなに慌てるなんて

ヒゴロ⠠レイセイ⠠⠠⠠ナ⠠カレガ⠠アンナニ⠠アワテルナンテ

私は(元気を出さなければ)と繰り返しつつやいた。

ワタシワ⠠⠠ゲンキヲ⠠ダサナケレバ⠠ト⠠クリカエシ⠠ツブヤイタ⠠

彼は「今年は(ホームランを)50本打つ」と言っている。

カレワ⠠⠠コトシワ⠠⠠ホームランヲ⠠⠠⠠50ポン⠠ウツ⠠ト⠠イッテ⠠イル⠠

彼は、「品川・川崎・神奈川・保土ヶ谷(中略)石部・草津・大津」と東海道五十三次をすらすらと言った。

カレワ⠠⠠シナガワ⠠⠠カワサキ⠠⠠カナガワ⠠⠠ホドガヤ⠠⠠チューリャク⠠⠠イシベ⠠⠠クサツ⠠⠠オオツ⠠ト⠠トーカーイドー⠠⠠53ツギヲ⠠スラスラト⠠イッタ⠠

(社福)全国社会福祉協議会

⠠⠠シャフク⠠⠠ゼンコク⠠シャカイ⠠フクシ⠠キョーギカイ

アサヒビール(株)本社 アサヒ⠠ビール⠠⠠カブ⠠⠠ホンシャ

ML(メーリングリスト)のメンバー

⠠⠠⠠ML⠠⠠メーリング⠠リスト⠠⠠ノ⠠メンバー

Gold(金)の輝き ⠠⠠Gold⠠⠠⠠キン⠠⠠ノ⠠カガヤキ

点字(視覚障害者のための触読文字)[名詞]

テンジ⠠⠠シカク⠠ショーガイシャノ⠠タメノ⠠ショクドク⠠モジ⠠⠠⠠メイシ⠠⠠

参考 カッコ類の基本的な用法は直前の語の注釈的説明ですので、前の語に続けて書きます。この場合は、カッコに囲まれた部分を省略しても文が成り立ちます。「少年の姿」「全視情協の大会」「日頃冷静な彼が」「MLのメンバー」「Goldの輝き」で前後の文脈に不自然な感じはありません。ただ、カッコには、これ以外に、文の途中に、独語や回想、(中略)などの編集上の注意書き、(株)(社福)などの略語等を挿入する用法もあり、その場合は独立した部分としてカッコの前をマスあけて書きます。これらには種々の用法が含まれ、一概にはいえませんが、独語の場合には、その部分を省略すると文脈に齟齬を生じますし、「(ホームランを)50本」のように、前の語の説明ではなく、**後ろの文脈にかか**ることもあります。どちらか迷う場合も多いので、迷った場合は基本的な用法を選び、前の語に続けて書きます。

料理も自分で(休み休みですけれど)しましたし、

スーパー(人混みにはまだ無理ですね)に買い物にいったりしてみた。

理学的研究では、一夫一妻制社会では(一夫多妻制社会とは異なり)男性は51歳以上生きる意がないと、かなりピンポイント的な値を算出して結論されているくらいです(やっぱりツライ)。

乳がん、卵巣がん、白血病、肺がん、すい臓がん…、等々(やっぱり多い)。

こうした感染症は(他の身体的疾患も)本書の後半で強調している「普通の生活(食を含む)」で(無意識にも)十分に対応できますから、やっぱり本文を普通に読んでください。

「すっぱい」という語は、「酔」と「はゆい(くすぐったいようなイライラさせられる様子)」とを組み合わせてできた言葉である。

UD(Universal Design)のように、最近は単語の頭文字を使った省略語が多い。

外国の街を歩いていると、occupied(満室)、vacant(空き部屋あり)のサインが出ているホテルを見かけます。

「しばらくしたら(子供たちが)出かけてしまうので、すぐに呼んでみましょうか」と、荷物を抱えた母に私は言った。

あのふわふわ浮かんだ雲に手が届くような気がするよ。(中略)

「自然学者」と呼ばれていた人々(彼らはやがて「智を愛するもの(哲学者)」と呼ばれるようになる)は、世界全体(宇宙)は一体として完結しており、万物について知ろうとするならまずは人間について学ばねばならない、と確信するに至った。

会社での社員採用の際、「即戦力となる人材がほしい」という声を聞くことがある。即戦力となる人材とは、会社にとって有益な価値の資源をすでに持っている人物であることを意味する。しかしたいいていは、そのような人物は、(特に新卒では)見つかりにくく、資源を提供できるように「教育」をする場合が多い。

私(平凡な妻)が、そんな大冒険をするなんて、彼(夫)には、想像もできないことだったらしい。彼は(見知らぬ他人がそこにいる)というめで、私をじっと見つめた。

私は、心の中で(ダメだったか)とつぶやいた。

こんな姿は見せられない(「見せれない」はう抜き言葉である)。

こんなことってあるだろうか。(あるはずがない)